

Title	エンジニアリング業界におけるFA市場戦略
Sub Title	
Author	本田潔(Honda, Kiyoshi) 青井倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第877号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0877

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	本田 潔 (東洋エンジニアリング株式会社)	主査 青井 倫一 副査 小野桂之介 嶋口 充輝
所属	青井 倫一 研究室	

エンジニアリング業界における F A 市場戦略

今日、日本のエンジニアリング業界は、過去の成長を支えた事業ドメインの再構築を迫られている。なぜならば、過去の成長を支えた海外プラント市場は市場規模の低迷傾向、円高等による欧米コントラクターとの競争力低下、プロジェクトリスクの増大等長期安定的な収益構造は望めなくなっているからである。更に、国内の主要顧客である化学・石油業界自体の成熟化を考え併せると既存事業ドメインのままでは、継続的企業成長を支えることが難しい状況となってきた。

このため、近年日本の製造業において、日本の競争力維持のために投資が続けられているとされる F A ・ C I M という生産の高度化投資の受注獲得を目指してこの市場へエンジニアリング業界からの本格的参入が顕在化している。

本論文では、この市場においてエンジニアリング業界各社が成長を遂げるための市場戦略を提言しようとするものである。

本論文では、日本における F A ・ C I M 化の動向と外部化市場に対するニーズを中心に実証研究を行った。この結果、ほぼ全製造業種において F A ・ C I M 投資意向強く、外部市場も予想以上の広がりであることが判った。更に、市場における顧客の開拓にとっては、コンピュータメーカーとの提携が、望ましいことが判った。

これを受けてエンジニアリング業界が築くべき市場ポジションとして、あくまでソフトウェア・ノウハウを中心とし、既存のコンサルティング会社とソフトハウスの間の位置付けを、当面の主要顧客層として組立・加工を中心とする中間製品製造メーカーを対象とすべきこと。更に、緩やかな企業間ネットワークとしての提携をコンピューター、制御機器メーカーとの間に築くこと。又将来的には海外工事経験のノウハウを活かした日本の製造業の海外進出を支援すべきことなどを提言とした。